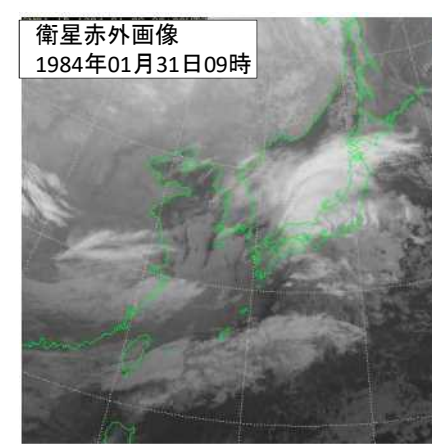
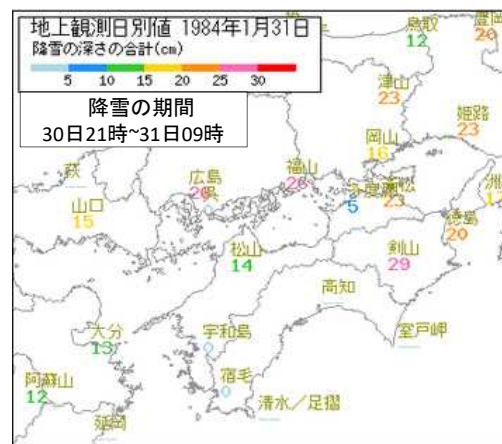


(参考)南岸低気圧による大雪 昭和59年(1984年)1月30日～31日

2024年11月現在

- 四国の南を低気圧が通過し、愛媛県では中予と東予を中心に大雪となった。 かつこ内：単位cm（－）は積雪なし
- 県内気象観測所の31日09時の積雪の深さは、久万（72）、富郷（37）、三島（25）、玉川（25）丹原（23）、新居浜（20）、松山（14）、大三島（12）中山（12）今治（10）、宇和（10）長浜（6）、大洲（5）、近永（4）三崎（2）、八幡浜（－）、宇和島（－）、御荘（－）を観測した。
「観測値」昭和59年1月愛媛県気象月報より ※当時の被害の状況とまったく同じ状況にはならないことに留意。



愛媛県の被害状況 ※被害は当時の新聞記事や愛媛県災害対策本部取りまとめから収集したものです。

積雪で滑って転倒、自動車の事故等による人的被害、道路の通行止め、駐車場の屋根落下、停電17,830戸。鉄道、バス、航空機の運休、遅延など交通機関に大きな乱れが発生。農業施設にも大きな被害。

- ◎ 交通障害：国鉄（現JR四国）は、16年ぶりに全面運休。松山空港は、昭和35年供用開始後、初めての全面封鎖。雪の重さで、駐機中のジェット機しりもち。
- ◎ 農業被害：ビニールハウス倒壊は、514棟。家畜舎倒壊は、9棟。かんきつ類等被害。
- ◎ 人的被害：スリップ事故などによる負傷者多数。

気象庁ホームページ 災害をもたらした気象事例（昭和59年豪雪）

(<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/bosai/report/1984/198401/198401.html>)